

航空ネットワークに関するビジョン(仮称)策定の論点等について(たたき台)

策定の考え方

- 北海道における航空ネットワークの目指す姿とその実現に向けた方策を明らかにする

現行ビジョンとの対比

	道内空港活性化ビジョン(H22～H29目途)	航空ネットワークに関するビジョン(仮称)
背景	○路線の集中化による、道内路線の休止・減便	○道内7空港における空港運営の民間委託の動きとネットワークの形成 ○乗降客数の増加、外国人来道者の急増 ○LCCの就航 ○人口減少社会の到来
策定の論点	<p>■主に空港ごとの課題や対応など</p> <p>○新千歳空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点空港化 ・幹線交通ネットワーク ・空港機能の強化 ・地域活性化 等 <p>○その他道内空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空ネットワークの展開 ・航空需要の拡大 ・空港機能の維持・充実 ・地域活性化 等 	<p>■航空ネットワーク全体の視点から論点を整理</p> <p>○航空ネットワークの目指す姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の路線の持続的な発展 ・離島路線の利用促進 ・LCCやチャーター便による地域活性化 ・空港機能の拡充 ・道内空港の運営に係る民間委託の推進 ・広域での空港間連携

■国内外の路線の持続的な発展

【現状】

〈路線の状況 H29.6月現在〉 ※北海道調べ

・国内線:46路線239往復/日 ・国際線:8か国・地域 18路線170往復/週

〈空港利用旅客数 H28年度〉 ※管内空港の利用概況集計表(国土交通省東京航空局)

・国内線:24,235,288人 ・国際線:3,045,059人

〈観光客等 H27年度〉 ※北海道調べ

・観光入込客数(実人数):5,270万人(道外客577万人、道内客4,693万人)

・訪日外国人来道者数(実人数):208万人 ※2020年をめどに500万人目標

【課題】

・東南アジアや欧米・中東などへの戦略的な国際航空路線の誘致

・地方空港の国際化

・道内航空ネットワークを活用した広域観光の推進(JRやバス、レンタカーとの連携など)

・発地、着地における双方向の連携

・道外空港から道内地方空港への訪日外国人の誘客

・アウトバウンドの促進 等

論点	現状・課題等
<p>■ 離島路線の利用促進</p>	<p>【現状】 〈離島路線〉 利尻－丘珠、利尻－新千歳(6～9月)、奥尻－函館 ・住民の重要な生活交通路線であり、地域医療への貢献など公共性が高い ・各島の観光産業に寄与 〈離島路線維持確保のための支援〉 ・運航費補助(国+道)、路線維持事業補助(道+町) ・島民割引運賃補助(国+道+町)</p> <p>【課題】 ・人口減少、高齢化の急速な進行による輸送需要の減少(島民以外の需要拡大によりカバー) ・フェリー航路とのアクセス改善 等</p>
<p>■ LCCやチャーター便による地域活性化</p>	<p>【現状】 ・LCCやチャーター便運航による新たな航空需要の拡大 ・交流人口の増加による地域活性化</p> <p>〈LCC就航路線(H29.6月現在)〉 国内線:4路線4社 国際線:6路線7社 〈チャーター便運航状況(H28年度)〉 国内線:502便 旅客数26,722人 国際線:624便 旅客数89,096人</p> <p>【課題】 ・LCC誘致やチャーター便の増加に向けた取組(航空会社・行政・空港・交通事業者等が連携した新たな需要開拓モデルの構築と磨き上げ等) ・LCC就航後の路線定着 等</p>

論 点	現状・課題等
<p>■ 空港機能の拡充</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内空港の国際線ターミナル拡張整備 ・滑走路端安全区域の整備(～平成38年度) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CIQ体制、グランドハンドリング体制、冬季対策(除雪体制等)の充実強化 ・維持管理費、除雪車両等の更新に係る予算の確保 ・空港施設の老朽化対策及び耐震対策 等
<p>■ 道内空港の運営に係る民間委託の推進</p>	<p>【現状】</p> <p>〈取組状況〉</p> <p>H28.12月 道内7空港の一括民間委託に関する地元意見「北海道発の提案」を国に提出</p> <p>〈想定スケジュール〉</p> <p>H29年度 マーケットサウンディング(民間投資意向調査) 実施方針の策定・公表</p> <p>H30年度 運営権者の選定プロセス</p> <p>H31年度 業務引継</p> <p>H32年度 民間事業者による運営開始</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウの共有等によるネットワーク全体の充実強化 ・民間委託効果(旅客数や貨物取扱量の拡大等)の全道への波及 等

■広域での空港間連携

【現状】

- ・複数の空港(圏域)が連携したエアポートセールス
- ・道東5空港によるホームページでの情報発信

〈航空に関する道内の広域組織〉

- ・北海道地域航空推進協議会(北海道商工会議所連合会)
- ・北海道空港協会(千歳市)
- ・ひがし北海道5空港ネット運営協議会(関係空港ビル持ち回り)
- ・ひがし北海道5空港利用促進協議会(北海道)

【課題】

- ・イン・アウトにおける空港間連携(後背地や広域観光周遊ルートの活用等)
- ・2次交通アクセスの充実(空港間や観光地など)
- ・航空会社、自治体、経済界など関係者の役割分担と自主的・主体的な取組の推進体制 等